

鶴見区区政会議 令和元年度第3回地域保健福祉部会議事録（要旨）

1 日 時 令和元年12月17日（火） 19時00分～20時29分

2 場 所 鶴見区役所 4階403・404会議室

3 出席者

（委員）

中田部会長、綿世副部会長、板倉委員、江口委員、寺井委員、伴委員、宮原委員、山田委員

（区役所）

谷上保健福祉課長、松井子育て支援・保健担当課長、嶋原市民協働課長、柏木生活支援担当課長、河本福祉担当課長代理、秋山保健担当課長代理、野上市民協働課担当係長、渡邊保健福祉課担当係長、日下保健福祉課担当係長、大田保健福祉課担当係長、青柿保健福祉課担当係長、小谷保健福祉課担当係長

4 議 題

- 1 令和2年度鶴見区運営方針（素案）について
- 2 区政会議における主な意見の進捗状況について
- 3 その他

5 議 事

（1） 区政会議委員自己紹介

（2） 区役所側自己紹介

（3） 部会長、副部会長選出

- （4） ・令和2年度鶴見区運営方針（素案）について
・区政会議における主な意見の進捗状況について
（地域共生社会の実現）

➤ 委員からの質問・意見等

- 地域共生社会のためには、引っ越してきた人に町会加入してもらいお互いに助け合うことが大事ということを区からもアピールしてほしい。

- 町会加入の促進のため、区役所としては転入時にちらしを配布したり、ホームページや広報紙などで周知に努めている。
- つなげ隊の活動は非常に大事なので、区役所と区社会福祉協議会との関係を整理し、区社会福祉協議会にもう少し任せたらどうか。
 - 区役所と区社会福祉協議会は平成 26 年に「地域福祉活動の支援にかかる連携協定」を結んでおり、共に地域福祉の向上をめざして取り組んでいる。また、区社会福祉協議会だから実施できる「住民主体の地域福祉ネットワーク活動推進事業」を特名随意契約で委託しているため、連携しつなげ隊等への支援を行っている。
- つなげ隊の活動報告にあたり、例えば決められた活動時間帯以外の活動について日報に記載しないよう指示があったなどの声を聞く。つなげ隊になっている方は、地域のために半分ボランティアで一生懸命頑張っているのであるから、そのモチベーションをそぐようなことにならないよう配慮すべきだと思う。
- 「だれもが地域で安心して暮らせるまちづくり」のための個々の取組みについては理解できるが、どういった状態で、それを達成するためにつなげ隊への相談件数 2,000 件はどうつながるのか。
 - 鶴見区運営方針は、まず、区全体の目標として「つながり、ふれあい、支えあう、だれもが安心して暮らせるまち」があり、その中で重点的に取り組む項目が経営課題である。その経営課題の中で 3 年から 5 年を念頭に設定したものが「地域共生社会の実現」「健康づくりへの支援」で、それを達成するために単年度の具体的取組みとして「地域福祉力の向上」等を記載している。
- 「地域共生社会の実現」のアウトカムに困った時（いざという時）に助けてくれる人がいると感じている区民の割合を令和 2 年度末までに 50%以上とあるが、現在何%なのか。
 - 後ほどお伝えする。
- 「地域共生社会」は厚生労働省等が言っているばらばらになっている福祉を一つにまとめるワンストップのことだと思うが、区としてはどのように考えるのか。
 - 区としても国の言う「地域共生社会」は、地域や医療などが連携してともに支えあう一つのつながりの仕組みであり、この実現に向け「住民主体のネットワーク」づくりに取り組んでいる。
- 高齢者は増加しているが会長等のなり手がいないため 19 年前には 58 クラブあった老人会が、現在、22 クラブに減少し、更に 2、3 減りそうな状況である。行政から支援はできないか。

- 高齢者に限らず、地域の担い手づくりはどの地区でも課題で、行政の支援も必要だと思う。一方で地域でも魅力ある町会、魅力ある地活協であるよう努力しないと担い手も集まらないと思う。
- ・ 令和 2 年度鶴見区運営方針（素案）について
 - ・ 区政会議における主な意見の進捗状況について
（健康づくりへの支援）
- 委員からの質問・意見等
 - ウォーキングカレンダーの配布方法を教えていただきたい。また、ウォーキングカレンダーに前年開催された健康増進の取組みの実施日時等を記載してはどうか。
 - ウォーキングカレンダーは 2,000 部印刷し、区内関係機関に配布するとともにウォーキング教室参加者にも渡している。また、区役所窓口にも設置している。区ホームページもダウンロードできるよう掲載している。前年の健康増進の取組み実施日時については、記載方法等を検討していく。
- ・ その他
- 委員からの質問・意見等
 - 区政会議委員の部会分けはどのようにして決めているのか、また、本人の意向確認もしてほしかった。今後はお願いしたい。
 - 昨年度から引き続きの委員については、これまでと同様の部会とし、新たなメンバーは所属団体での活動内容、公募委員については興味のある分野ということで分けている。次回については、ご意見を参考にさせていただく。
 - 今年 4 月区長が就任されたが、広報つるみに区長があまり掲載されていない。区長をもっと知ってもらうために、毎回掲載するべきではないのか。
 - 今年度は数回掲載しただけであった。ご意見を参考に今後の対応を検討する。
 - 広報つるみに銭湯が掲載されていた。大変いい取組みだと思った。
 - 現在、避難所開設運営訓練は小学校では実施されているが、中学校や高校での開設も必要であり、地域をまたがる中学校や高校でも実施されたい。鶴見区全体で避難所を開設する取り組みも検討してほしい。
 - 避難所開設運営訓練は地域にお願いし、昨年度から実施しているため、まず地域がよく利用している小学校で実施している。しかし

大規模災害発生時は中学校や高校も避難所となることが想定されるためその必要性は感じている。

(5) 事務連絡